



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 臨床研修室 樋渡 友菜

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修室 樋渡 友菜

【指導医】

聖路加国際病院 小児科 梅原 直

当院で IgA 血管炎と診断された方を対象とした

フォローアップ期間に関する研究

1.研究の対象

2004 年 1 月から 2024 年 7 月までに当院小児科外来受診または入院され IgA 血管炎と診断された方

2.研究の目的・方法

IgA 血管炎は、小児期の発症率が小児での血管炎としては川崎病に次いで多いとされています。IgA 血管炎の合併症である紫斑病性腎炎は、小児の二次性糸球体腎炎のなかで最も頻度が高く、臨床的に重要な疾患であり、約 1%は末期腎不全に至るとされ、小児慢性腎不全の原因疾患の約 5%を占めています。また、ほとんどが 1 年以内に再発するといわれており、IgA 血管炎の寛解後も外来での定期的な尿検査が推奨されています。紫斑病性腎炎は、発症するタイミングや重症度にばらつきが大きく、発症しても予後が比較的良好な傾向があり、IgA 血管炎の病初期の臨床像から腎予後を予測することは困難であり、腎機能に影響を与える多くの因子が存在すると考えられています。

今回、当院でのフォローアップ期間と腎炎の発症率や重症度について調査することで適切なフォロー期間を明らかにすることを目的としております。なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025 年 3 月 31 日までの予定です。該当データの利用開始は、2024 年 8 月 13 日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 ID、性別、入院・外来の別、血液検査・尿検査結果、治療内容 等